

# わだいの特選

wadai-no tokusen CAMERA REPORT

## 満 第2回鎌北湖桜まつり 開の桜の木の下で！



4月11日、『第2回鎌北湖桜まつり』が開催されました。毛呂山太鼓の皆さんによるオープニングセレモニー

のあと、鎌北湖の桜をバックに、ゆず娘の撮影会が行なわれました。カメラマンは、ゆず娘に声をかけながら、満開の桜を背景に真剣に撮影していました。また、会場では、地元特産品の販売や豚汁の無料配布なども行なわれ、多くの人で賑いました。訪れた人たちは、桜の木の下でお弁当を食べたり、スワンボートに乗ったりしながら春のひとときを楽しんでいました。

## み 企業のもり みんなで森を守る活動

4月24日、毛呂山総合公園グラウンド脇の約1ヘクタールの斜面に、東電環境エンジニアリング株式会社の皆さんによるコナラやクヌギなどの植林が行われました。この事業は、町が進める企業のもり活動として行われ、町内では7か所目になります。この森林は、今後5年間、東電環境エンジニアリング株式会社によって下草刈りなど、美しい森林を育てるための作業が行われます。



## 色 大類花まつり とりどりの花が咲き誇る



4月10日、11日に『大類花まつり』が開催されました。会場には、赤、黄、白など、色とりどりのチューリップや可憐なポピーの花が咲き誇り、家族連れなどで賑わいました。訪れた人たちは、暖かな春の日差しの下で、花摘みや写真撮影を楽しんでいました。



## 不 日本語学習ボランティア 用ランドセルをタイに贈る

町内で外国人に日本語の学習支援を行うボランティア団体「もろやまインターナショナルクラブ」は、タイ山間部の小学校へランドセルやノート、鉛筆などを贈る活動に取り組んでいます。町内や近隣から集まった70個のランドセルなどを、昨年10月に船便で発送したところ、今年1月になって、ラオス国境に近いバーンチャグ小学校の校長からお礼の手紙と写真が届いたということです。この活動は、今後も継続していくので皆さんの協力をお願いしたいと会長の平塚さんは話してくれました。



## 県 目白台子供会表敬訪問 郷土かるた大会で入賞

『彩の国21世紀郷土かるた県大会』は、仲間づくりと郷土愛を高めることなどを目的として毎年開催されています。毛呂山町からは、昨年12月開催の毛呂山町大会団体戦で優勝した目白台子供会チームと個人戦の優勝者が出場しました。

団体戦では、59市町村120チームが戦い、目白台子供会チームが6位入賞を果たしました。4月2日には、出場選手と保護者の皆さんが小沢町長を表敬訪問し、熱戦の様子を伝えました。



## 地 防災協定の締結 地域住民の安全・安心のために！



4月8日、大規模災害（地震）発生時において、地域住民の早期安全確保を図ることを目的とした協定が、毛呂山町と株式会社第一住宅との間で締結されました。この協定は、大規模な災害（地震）が発生した際に、東武越生線武州長瀬駅北側にある第一プラザ武州長瀬店の立体駐車場を開放して、地域住民の避難場所として使用することなどを取り決めた協定です。町は、今後も住民の皆さんが安全で、安心して暮らせるまちづくりを進めていくための協定を積極的に締結していく予定です。

## 新 もろっこサイクリング 緑のなかを走り抜ける！



4月29日、青少年相談員協議会主催の『もろっこサイクリング』が、森林公園で行われました。当日は町内の小学生14人が参加。相談員のお兄さん・お姉さんたちと一緒に、爽やかな新緑のなかを自転車<sup>きわ</sup>で走り抜けました。また、皆でお弁当を食べたり、水の広場で相談員と遊んだりして、子どもたちはサイクリングの疲れも忘れて、元気いっぱい遊んでいました。